

令和 8 年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

令和 8 年 8 月 8 日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 特定非営利活動法人
teamAIR
氏 名 二宮理恵

令和 8 年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ：「スポーツで広がる協働のまちづくり」

取組の名称	スポーツでつながる 親子・多世代の健康づくりプロジェクト
取組の概要 インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。 今年のテーマとの関連がわかるよう、目的及び取組概要、アピールポイントを 300 字（句読点含む）以内で記載してください。	子どもの運動機会の減少や親子で体を動かす機会の不足を地域課題と捉え、NPO 法人 teamAIR が中心となり、岡山県スポーツ協会、一般社団法人チャイルドヘルスケア協会、The World Kitchen 実行委員会と協働して取り組んでいます。親子運動あそび教室、子どもの足の状態を知り、運動への意欲につなげる足測定会、海外の遊びに触れる異文化イベント、三世代運動あそびイベントを実施し、それぞれの専門性を生かして、子どもがスポーツに親しむきっかけを創出しています。さらに、親子・多世代・学生・地域団体がつながる場を広げ、地域全体で子どもの成長と健康を支える協働のまちづくりを推進しています。
成果・効果 取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを書いてください。	親子運動あそびでは、親子で一緒に参加することで、子どもだけでなく保護者も運動の楽しさや大切さを実感し、家庭で体を動かす機会や運動習慣づくりへの意識が高まりました。足測定会では、保護者が子どもの足の状態を知ることで、運動や健康への関心を高めるきっかけとなりました。また、異文化イベントでは、外国人学生と大学生と一緒に各国の遊びを体験し、子どもたちはスポーツや遊びを通して異文化に親しみ、多様な価値観に触れる機会となりました。 三世代運動あそびイベントでは「久しぶりに体を動かして気持ちよかった」「もっと体を動かしたい」「孫や子どもと遊ぶ方法がわかった」といった声が寄せられ、保護者や祖父母の意識や行動の変化にもつながりました。また、初対面の参加者同士が参加することで、保護者同士や子ども同士の新たなつながりが生まれ、学生ボランティアも地域住民との交流を通して多世代とのつながりを深めました。 協働団体それぞれの専門性を生かした取組により、子どもたちがスポーツに親しむ機会が広がるとともに、親子、多世代、学生、地域団体が交流する場が生まれました。さらに、地域で子どもの成長や健康づくりを支えるネットワークが広がり、誰もが安心して参加できる、協働による継続的な地域づくりにつながっています。

● 次の書類等を添付してください。

- ①〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容
- ②〔様式 2〕 取組実施団体概要書

③写真等取組イメージ画像の電子データ（１枚）

インターネット投票を行う際のエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順（事務局受付順）に掲載します。

④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート（デジタルデータ）１枚

シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います（シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。）

⑤その他取組の説明資料：A４で２ページ以内の資料を添付できます。

※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式２〕以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	スポーツでつながる 親子・多世代の健康づくりプロジェクト
テーマとの関連	◎取組とテーマが合致している点を書いてください。 子どもの運動機会の減少や親子で体を動かす機会の不足が地域課題となる中、スポーツをきっかけに親子や多世代、地域住民がつながり、地域全体で子どもの成長を支えることが「スポーツで広がる協働のまちづくり」につながると考えています。岡山県スポーツ協会や一般社団法人チャイルドヘルスケア協会、The World Kitchen 実行委員会と協働し、それぞれの専門性を生かし、子どもの運動機会の充実を図るとともに、親子・多世代・地域団体が交流する地域づくりを推進しています。
取組の目的・目標	◎取組の目的・目標を社会課題の具体的な状況をふまえて書いてください。 子どもの運動機会の減少や親子で運動する機会の不足を地域課題と捉え、子どもがスポーツに親しむきっかけづくりを進めるとともに、親子と一緒に運動を楽しめる機会を増やすことを目指しています。さらに、多世代や地域団体がつながり、それぞれの専門性を生かしながら、地域全体で子どもの成長と健康を支える協働のまちづくりを推進することを目的としています。
取組の内容	◎取組の内容について具体的に書いてください。 1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など 対象地域：岡山市内 対象：未就学児・小学生・中学生と保護者と祖父母 対象人数：2021年～2025年の参加者357人 ①親子de運動あそび教室：45人 ②わんぱくキッズ3D足測定会：69人 ③異文化イベント：27人 ④こころを育てる運動遊びプログラム（三世代）：216人 2 活動内容、実施方法など ・ 2021 親子de運動あそび教室 岡山県スポーツ協会と協働し、親子で楽しめる運動あそび教室を開催した。親子と一緒に体を動かし、家庭でも楽しめる運動あそびを実施した。 ・ 2022 わんぱくキッズ3D足測定会 一般社団法人チャイルドヘルスケア協会と協働し、子どもの足の状態の測定を実施した。足や靴、運動の大切さについて専門家が保護者へ説明し、一人一人に合わせた助言を行った。 ・ 2024 異文化イベント（海外のあそび） The World Kitchen 実行委員会と協働し、外国人留学生や大学生と各国の遊びを体験する異文化交流イベントを開催した。

	・ 2025 こころを育てる運動遊びプログラム（三世代） 岡山県スポーツ協会と協働し、子ども・保護者・祖父母と一緒に参加できる三世代運動遊びを実施した。 3 工夫した点や取組の特徴 ・ 2021 親子 de 運動あそび教室 家庭でも続けられる遊びを取り入れ、親子で「楽しさ」や「できた」を共有できる内容とした。日常生活でも取り組みやすい遊びを紹介し、家庭で運動を続けやすい工夫を行った。 小学校教員を目指す大学生がボランティアとして参加し、子どもと積極的に関わりながら運動あそびの補助を行うことで、子どもたちが安心して参加できる環境をつくった。 ・ 2022 わんぱくキッズ3D足測定会 専門家と連携し、足の測定結果をもとに一人一人の足の状態に合わせたアドバイスを実施した。現在の足の状態を知ることをきっかけに、足・靴・姿勢と運動のつながりを総合的に伝え、親子で運動の必要性を理解してもらえるよう工夫した。 ・ 2024 異文化イベント（海外のあそび） 大学生が主体となって運営をし、外国人留学生と直接交流しながら各国の遊びを体験できる内容とした。年齢の近い大学生と一緒に体を動かすことで子どもたちが親しみやすく、普段知らない遊びを新鮮な気持ちで楽しみながら、自然に運動や異文化への興味も深められるよう工夫した。 ・ 2025 こころを育てる運動遊びプログラム（三世代） 子どもから祖父母まで同じプログラムに参加できるよう内容を工夫し、世代を超えて協力し合う運動あそびを取り入れた。学生ボランティアが班長として各班を担当することで、安全面や運営面を支え、多世代が自然に交流できる場を作った。 それぞれの団体の専門性を生かした取組を行ったことが、本取組の特徴です。また、スポーツを通じて親子・多世代・学生・地域団体が自然につながる場を創出しました。 ◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLを書いてください。 ホームページ http://www.teamair.jp/ Instagram https://www.instagram.com/npoteamair?igsh=eXdqchRpYnZjeG5v	
取組の実施期間 今後の活動展開	始期： 2021 年 7 月 ～	☒ 継続予定 ☐ 令和 年 月終了 ☐ 令和 年 月頃終了予定 該当するものに☒し必要事項を記入してください。

など	◎今後の成果の普及や活動展開などについて書いてください。 子どもの頃からスポーツや運動を楽しむ機会を地域の中で増やし、親子・多世代が交流できる場づくりを継続していきます。今後も多様な団体との協働を広げ、それぞれの専門性を生かした取り組みを発展させることで、地域全体で子どもの健やかな成長と健康を支え、誰もが安心して参加できる地域づくりを、協働の力で継続的に推進していきます。
----	---

協働による 効 果	岡山県スポーツ協会、一般社団法人チャイルドヘルスケア協会、The World Kitchen 実行委員会との協働により、それぞれの専門性や強みを生かした親子運動あそび、足測定会、異文化交流、三世代交流など、多様なプログラムを実施することができました。各団体の専門性やネットワークを生かして開催場所や内容を工夫することで、これまで参加する機会が少なかった親子や子どもたちにもスポーツに親しむきっかけを提供し、幅広い世代が参加しやすい環境づくりにつながりました。また、大学生や学生ボランティアの参加により世代を超えた交流が生まれ、参加者同士や協働団体とのつながりが広がりました。一つの団体だけでは実現できない取組を協働により実現し、スポーツを通じて地域のコミュニティづくりが進むとともに、親子・多世代・地域団体がつながる協働の輪が広がり、継続的な地域づくりにつながっています。		
協働団体と その役割	団 体 名	岡山県スポーツ協会	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☒ その他（公益財団法人）	
	役 割	企画協力、広報・参加者募集・運営支援	
	団 体 名	一般社団法人チャイルドヘルスケア協会	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☒ その他（一般社団法人）	
	役 割	足測定、専門的助言、保護者への啓発・運営	
	※協働団体が他分野にわたっていることや、各団体の関わり深さも評価の対象となります。※足りない場合は欄を追加してください。	団 体 名	The World Kitchen 実行委員会
		団体種別	☐ 住民自治組織 ☒ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
		役 割	海外の遊びの企画、留学生との交流支援・運営
		団 体 名	
		団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
		役 割	
		団 体 名	
		団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
		役 割	
		団 体 名	
団体種別		☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）	
役 割			
団 体 名			
団体種別		☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）	

	役 割	
	団 体 名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	
	団 体 名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	
	団 体 名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役 割	
	団 体 名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
役 割		